

令和8年度 学校経営計画書及び自己評価計画書

石川県立金沢泉丘高等学校（通信制課程）

学校長 高倉 英明

1 教育目標

- 心身一如の発達につとめて
- 真理を求め、勉学を第一義とすること
- 情操を豊かにし、自らの品位を高め、他者の人格を重んずること
- 正義を愛し、誠実にして、社会から信頼されること

2 中・長期的目標

様々な事情により本校を学びの場として選択した生徒たち一人ひとりが、自ら時間管理に努め、レポート提出やスクーリングのへ参加を積み重ねることで、学びの楽しさを見つけるとともに、自己肯定感を高める。また、生徒会活動の場に一人でも多くの生徒が参画することで、協働する喜びを感じるとともに、コミュニケーション能力を高め、ひいては社会の一員としてしっかりと行動する力を培う。

(1) 学校の現状

- ① 近年の通信制を取り巻く環境は著しく変化し、様々な入学動機や学習歴をもつ生徒が通う学校となっている。とりわけ増え続けている不登校経験者への対応が課題である。
- ② 生徒の年齢層に幅はあるが、活躍生の中心は10代の生徒であり、近年85%前後で推移している。
- ③ 4月の新入、転入、編入生に加えて、9月の転入生も多く、転編入生数は活躍生の6割強を占めている。
- ④ 入学はするが、途中で学習を継続できない不活躍生が多く、進路が定まらないまま卒業する生徒も多い。また、活躍生においても基礎学力が定着しておらず、単位の修得が困難な生徒もいる。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① GIGA スクール構想を基盤とし、ICTの効果的な活用や面接指導（スクーリング）を通して生徒自らが学習意欲を高め、計画的に学習を進める力を育成する。併せて、生徒に寄り添う面接指導（スクーリング）の展開や基礎学力定着のための報告課題（レポート）の研究・開発を行う。
- ② 豊かな人間性を育み、生涯にわたって学び続け、社会の変化に柔軟に対応できる「生きる力」を育成する。また防災教育や課外活動を通じ、自己肯定感を高め、他者を尊重する精神の陶冶を図る。
- ③ 生徒一人ひとりが自身の将来を主体的に考える意識を醸成するために進路ガイダンスへの参加を促し、個々の適性や能力、多様な背景に応じた伴走型のキャリア教育を推進する。

(3) 教職員・学校組織等の望ましい在り方

- ① 生徒一人ひとりに寄り添う面接指導や学習支援の方法を磨き、教職員個々の教育力をさらに充実させる。通信制教育としての課題や生徒の多様な背景に対する共通認識を深め、組織全体で計画的かつ継続的な協働体制を構築する。
- ② 各分掌の機能化・効率化を図り、諸課題に対して組織的に対応できるように取り組む。また、教職員がワーク・ライフ・バランスを維持し、社会的知見を深めることで教職員の視野を広げ、生徒への指導の向上を図る。

3 今年度の重点目標

- ① ICT ツールを活用することで生徒と教員の双方向の連絡・学習支援体制を整え、生徒個人に応じた学習支援を進め、レポートの提出率やスクーリングの出席率を向上させる。
- ② 学校における日々の学習や生徒会活動などを通して、社会的なマナーや規範意識の定着と、自他の生命を尊重する人間性の育成を図る。
- ③ 家庭との連携を図り、生徒一人ひとりの学習状況を教員間で共有し、生徒に対して組織的に支援する体制をつくる。
- ④ 各分掌の業務の平準化と効率化を図り、生徒や教職員のウェルビーイングが高まるよう、管理職は風通しの良い職場の雰囲気づくりに努める。
- ⑤ 学校 HP や校内掲示板の充実を図り学校行事への参加意欲を高めることで、生徒の自己肯定感を高め、将来の進路選択の意欲を高める進路指導やキャリア教育を進めていく。